

第38回日本化粧品学会 プログラム

- 日時：2013年6月6日（木），7日（金）
場所：有楽町朝日ホール
東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 11F Tel.03-3284-0131
- 交通：JR（山手線・京浜東北線）有楽町駅
東京メトロ（有楽町線）有楽町駅
東京メトロ（丸ノ内線・銀座線・日比谷線）銀座駅 下車徒歩 1～2分
- 主催：日本化粧品学会
協賛：日本化粧品工業連合会
会頭：杉林 堅次（城西大学）
副会頭：四宮 達郎（カネボウ化粧品）
- 大会参加費：会 員（事前）：10,000 円， 会 員（当日）：12,000 円
：非会員（事前）：13,000 円， 非会員（当日）：15,000 円
：学 生（当日のみ・要旨集込）：2,000 円（要学生証提示）
- 懇 親 会：2013年6月6日（木）18：20～ 会費 8,000 円
会場 コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
- 参加予約：Web 受付 <http://www.jcss.jp/>
2013年4月初旬開始 ～ 2013年5月7日（火）締切
- 問合せ先：第38回日本化粧品学会大会事務局
Tel.03-5389-6496 Fax.03-3368-2827
E-mail.jcss-desk@bunken.co.jp

メインテーマ：『Sustainable Cosmetology（持続性のある化粧品科学）
～化粧品科学を支える医学・薬学・産業の持続発展のために～』

2013年6月6日（木） 1日目

- 9:30～ 9:35 開会挨拶 会頭 杉林堅次（城西大）
- 9:35～10:25 一般研究演題（I） 4題（発表8分，質疑4分）
座長：中川晋作（大阪大），横山浩治（ポーラ）
- R01 セラミド配合マイクロカプセル適用による 皮膚バリア機能の改善
○小幡誉子¹，佐野啓¹，大貫義則¹，太田昇²，梁天賜³，本多秀夫³，八木直人²，高山幸三¹
（¹星薬科大，²SPring-8/JASRI，³横浜油脂）
- R02 角層細胞間脂質モデルの調製と物性評価
○箱田優也¹，油井研一¹，田中佳祐²，酒井健一¹，酒井秀樹¹，阿部正彦¹，橋本悟²，坂本一民³
（¹東京理科大学・理工，²コスモステクニカルセンター，³千葉科学大・薬）
- R03 X線散乱・回折法によって観測した尿素水溶液中の皮膚角層構造
○湯口宜明¹，大橋孝一¹，小幡誉子²，太田昇³，八田一郎⁴
（¹大阪電気通信大，²星薬科大，³SPring-8/JASRI，⁴名古屋産業科学研究所）
- R04 角層の動的構造変化測定による定常水分量解析
○八田一郎¹，中沢寛光²，太田昇³（¹名古屋産業科学研究所，²関西学院大，³JASRI/SPring-8）
- 10:25～10:55 会頭講演 座長：小澤明（東海大）
『サイエンスとエビデンスに基づく化粧品の研究と開発』
杉林堅次（城西大・薬）

10:55～11:45 一般研究演題（Ⅱ） 4題（発表8分，質疑4分）

座長：常深祐一郎（東京女子医科大），田中浩（日本メナード化粧品）

R05 動物実験に依存しない化粧品の全身毒性評価のアプローチ

○相葉摩紀，山口雅彦，上月裕一（資生堂・リサーチセ）

R06 安全で魅力的な化粧品の開発に向けたナノ安全科学研究 Part 1

～サブナノ白金の経皮体内動態解析～

○吉岡靖雄¹，吉田徳幸¹，平井敏郎¹，三里一貴¹，高橋秀樹¹，市橋宏一¹，角田慎一^{2,3}，東阪和馬¹，堤康央^{1,2,3}（¹大阪大院・薬，²大阪大・基盤研，³大阪大 MEI セ）

R07 安全で魅力的な化粧品の開発に向けたナノ安全科学研究 Part 2

～サブナノ銀の経皮体内動態解析～

○東阪和馬¹，吉田徳幸¹，平井敏郎¹，三里一貴¹，高橋秀樹¹，市橋宏一¹，角田慎一^{2,3}，吉岡靖雄¹，堤康央^{1,2,3}（¹大阪大院・薬，²大阪大・基盤研，³大阪大 MEI セ）

R08 高齢期の身体機能と化粧動作に関する研究

○池山和幸¹，彭春栄²，下村義弘²，勝浦哲夫²（¹資生堂・リサーチセ，²千葉大院・工）

11:45～13:45

昼休み（120分）

13:45～14:55 一般研究演題（Ⅲ） 6題（発表8分，質疑4分）

座長：高山幸三（星薬大），吉田雅紀（クラシエ）

R09 毛髪由来のケラチン結合タンパク質の新しい調製方法とその応用

○藤井敏弘，伊藤弓子（信州大・繊維）

R10 Polymethoxyflavonoid による Tyrosinase への影響

○吉崎舟洋¹，藤井敬洋¹，正木仁²，島田邦男³，橋爪論¹
（¹日油・先端技術研，²東京工科大・応用生物，³日油・本社）

R11 ケラチノサイトの貪食能に及ぼす HGF の影響

○下条洋輔，野淵翠，伊藤久富，宮崎寿次（長瀬産業・研究開発セ）

R12 UVB 曝露ヒトケラチノサイトとヒトメラノサイトのチロシナーゼ発現上昇に関するパラクリン相互作用の細胞分離共存培養法による解析とブロックケミカルの探索

○庭野隆夫^{1,2}，中島弘明²，芋川玄爾³
（¹築野ライスファインケミカルズ，²東京工科大・応用生物，³中部大・生物機能開発研）

R13 ローマカミツレエキスのメラニン産生抑制作用

○笠松慎也，杉山充，八谷輝，藤森健敏，大内敦（花王・生物科学研）

R14 紫外線による皮膚線維芽細胞の形態変化と光老化との関連性

○山羽宏行，田中曜，田中浩，八代洋一，中田悟（日本メナード化粧品・総合研）

14:55～15:40 特別講演Ⅰ 座長：四宮達郎（カネボウ化粧品）

「いけばな～花の哲学・花の縁・花が結ぶ人の縁～」

笹岡隆甫（華道「未生流笹岡」家元）

15:40～15:55

休憩（15分）

15:55～17:25 シンポジウムⅠ 「次世代先端評価技術を駆使する」

座長：渡辺晋一（帝京大），世喜利彦（上武大）

1. 「動物実験代替法の理想と到達までの道のり」 酒井康行（東京大・生産研）
2. 「ライブセルイメージングで見る細胞内膜交通」 中野明彦（理化学研究所／東京大院・理）
3. 「生活習慣病、分子遺伝学からエピゲノミクスへ」 酒井寿郎（東京大・先端研）

17:25～ 理事長挨拶 川島 眞（東京女子医科大）

18:20～ 懇親会（コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル）

9:30~10:00 総会

10:00~11:00 一般研究演題 (IV) 5題 (発表8分, 質疑4分)

座長: 藤井まき子 (昭和薬大), 川田裕三 (花王)

R15 分光反射率を用いた皮膚内部特性の解析

○大槻理恵¹, 村上泉子¹, 坂巻剛¹, 富永昌治² (¹カネボウ化粧品・スキンケア研, ²千葉大院)

R16 顔面頬部位の真皮乳頭構造と線維状構造の加齢変化

○水越興治¹, 二川朝世¹, 中村多実子¹, 米倉和輝¹, 大場愛¹, 平山賢哉¹, 高橋和宏²
(¹ポーラ化成工業, ²岩手医科大・医・皮)

R17 顔面のたるみに関する画像解剖学的分析

-3次元CT画像による立位および仰臥位の顔面構造物の形態評価-

○奥田逸子^{1,2}, 中島康雄², 煎本正博³, 平田和明⁴, 阿部浩一郎⁵, 白壁征夫⁶
(¹国際医療福祉大学三田病院・放射線診断セ, ²聖マリアンナ医科大・放射線医学, ³イリモトメディカル・放射線科, ⁴聖マリアンナ医科大・解剖学, ⁵青山研美会クリニック・形成・美容外科, ⁶サフォクリニック・美容外科)

R18 中顔面のたるみに関する画像解剖学的分析

-3次元CT画像および3D画像解析撮影装置による評価-

○奥田逸子^{1,2}, 中島康雄², 煎本正博³, 平田和明⁴, 阿部浩一郎⁵, 白壁征夫⁶
(¹国際医療福祉大学三田病院・放射線診断セ, ²聖マリアンナ医科大・放射線医学, ³イリモトメディカル・放射線科, ⁴聖マリアンナ医科大・解剖学, ⁵青山研美会クリニック・形成・美容外科, ⁶サフォクリニック・美容外科)

R19 紫外線による皮膚の生体内酸化ストレスイメージング

○Wolf Alexander M, 中島裕也, 上村尚美, 西楨貴代美, 太田成男 (日本医科大院・医)

11:00~11:30 ショートプレゼンテーション

11:30~13:00 昼休み (90分)

13:00~14:00 ポスターセッション (責任在席 13:00~14:00)

P01 化粧品中 1,4-dioxane 分析法の開発および製品の定量

○田原麻衣子, 小濱とも子, 五十嵐良明 (国立医薬品食品衛生研・生活衛生化学)

P02 キラヤ由来トリテルペノイドサポニン水溶液の物理化学的性質

—起泡力に対する多価アルコール並びに無機電解質の影響—

○鳥家圭悟¹, 中原達雄¹, 堀内照夫² (¹丸善製薬・総合研, ²明星大・総合理工)

P03 高分子を乳化剤とした酢酸レチノールローションの調製

○田中里奈, 藤井まき子, 小泉直也, 渡辺善照 (昭和薬科大)

P04 葉圏生息微生物に由来する UVA 吸収成分の特性

○吉田重信, 小坂橋基夫, 加茂綱嗣, 平館俊太郎, 對馬誠也 (農業環境技術研究所)

P05 天然ミネラルクレイのスキンケア機能の解析

○Pedro Eriberto Bretzke¹, 加藤昂洋², 永田武², 辻野利哉²
(¹Argilas do Brasil Com. de Ins. EIRELI, ²アイ・ティー・オー)

P06 ヤエザクラ花抽出物は糖化反応生成物の生成抑制を介してシワを改善する

○下田博司¹, 寺澤周子¹, 田中潤司¹, 原英彰², 正木仁³
(¹オリザ油化, ²岐阜薬科大・薬効解析学, ³東京工科大・応用生物学)

P07 四糖ヒアルロン酸オリゴ糖のセラミド生成に及ぼす影響

○徳留嘉寛, 鹿毛まどか, 杉林堅次, 橋本フミ恵 (城西大・薬)

P08 表皮角層中のウロカニン酸異性体比と皮膚性状の関係に関する研究

○橋本陽輔¹, 竹村征樹², 大高泰靖², 山下裕司², 坂本一民^{1,2} (¹千葉科学大院・薬, ²千葉科学大・薬)

P09 ヒト表皮細胞における L-carnitine 生合成とその意義

○太田裕紀子¹, 丹野修¹, 行卓男¹, 久世哲也², 飛石恵¹, 高橋慶人¹
(¹カネボウ化粧品・価値創成研,²カネボウ化粧品・品質統括 G)

P10 経皮水分蒸散量と角層細胞間脂質構造の深さ方向関連解析

○清水教男, 中川典昭, 酒井進吾 (カネボウ化粧品・価値創成研)

P11 角層細胞間脂質のラメラ構造に及ぼすメントールの影響

○吉田真也¹, 小幡誉子¹, 佐野啓¹, 大貫義則¹, 太田昇², 八木直人², 八田一郎³, 高山幸三¹
(¹星薬科大,²Spring-8/JASRI,³名古屋産業科学研究所)

P12 ヒト皮膚透過予測における Strat-M™ の有用性

○金井沙由美, 藤堂浩明, 杉林堅次 (城西大・薬)

14:00~14:45 特別講演Ⅱ 座長：杉林堅次 (城西大)
「動く遺伝子 (トランスポゾン) から私達のゲノムを守る仕組み」
塩見春彦 (慶應義塾大・医)

14:45~15:00 休憩 (15分)

15:00~16:30 シンポジウムⅡ 「コスメサイコロジー (心理・生活者行動学) の真髓」
座長：小出千春 (コーセー), 藤原延規 (マンダム)

1. 「化粧の力で高齢者を元気にする」 岩田喜美枝 (元厚労省・資生堂顧問)
2. 「化粧品と消費者行動：ブランド価値の構築に向けて」 新倉貴士 (法政大・経営)
3. 「脳が決める効果：プラセボ効果の要因解析からわかること」 中島恵美 (慶應義塾大・薬)

16:30~17:30 一般研究演題 (V) 5題 (発表8分, 質疑4分)
座長：石河晃 (東邦大) 木曾昭典 (丸善製薬)

R20 老化初期の男性に生じる新規体臭成分の発見

○志水弘典, 原武史, 松井宏, 桑田郁子 (マンダム・中央研)

R21 メラノソームは表皮ケラチノサイトの増殖を抑制する

○永田武^{1,3}, 加藤彩夏², 當山亜利沙², 糸賀和義³, 岡野光夫³, 正木仁²
(¹アイ・ティー・オー,²東京工科大・応用生物,³東京女子医科大・先端生命医科学研)

R22 角質細胞の微絨毛様突起形成における紫外線の影響

○山口弘毅, 植松美喜, 広瀬統, 八代洋一, 中田悟 (日本メナード化粧品・総合研)

R23 アトピー性皮膚炎におけるタイトジャンクションの変化と Outside-in barrier 異常のメカニズム考察

○行卓男¹, 小宮亜矢¹, 伊藤正太郎², 石川准子², 高橋慶人¹
(カネボウ化粧品・価値創成研,²花王・生物科学研)

R24 健康皮膚におけるセラミドプロファイルと角層機能との関連

○石川准子, 下豊留芳枝, 伊藤正太郎, 宮内勇貴, 藤村努, 大内敦 (花王・生物科学研)

17:30~ 閉会挨拶 次期会頭 小澤明 (東海大)

【併催企画】第3回市民公開セミナー 6月7日(金)18:00~ 有楽町朝日ホール

入場無料

「美肌へのアプローチ ~細胞レベルから心まで~」

司会：杉林堅次 (会頭/城西大), 打和秀世 (カネボウ化粧品)

開会挨拶 川島眞 (理事長/東京女子医科大)

1. 「肌を知って美しくなろう」 菊地克子 (東北大・医)
2. 「化粧品をうまく使って、楽しく！美しく！」 徳留嘉寛 (城西大・薬)
3. 「恋される顔のルール - 顔や化粧の不思議 -」 上田彩子 (理化学研究所・脳科学総合研究セ)

閉会挨拶 四宮達郎 (副会頭/カネボウ化粧品)